

決算説明資料



2021年3月期 第26期

2021年5月12日

証券コード 6730

株式会社アクセル

代表取締役社長 松浦 一教

執行役員 管理グループ ゼネラルマネジャー 植野 悦匡

1

2021年3月期の業績

執行役員 管理グループ ゼネラルマネージャー
植野 悦匡

3 | トピックス

株式報酬制度導入

取締役向けに譲渡制限付株式報酬制度を導入（2020年6月開催の株主総会で承認）

発行する株式 普通株式 24,240株（希薄化率 0.2%）

発行総額 19百万円

払込期日 2020年8月11日

子会社による吸収合併

ax株式会社がモーションポートレート株式会社を吸収合併

2020年10月26日 吸収合併を決議

2020年12月1日 吸収合併日

グループ経営の効率化が目的

共通支配下取引のため連結決算への影響は無し

子会社の新規設立

パチンコ・パチスロ機向け次世代メモリの開発販売を目的に子会社を設立

名称 aimRage株式会社

株主・持株比率 アクセル70%、富士通デバイス（現NVデバイス）30%

設立年月日 2020年11月

資本金 30百万円（資本準備金含む）

4 トピックス

業績・配当予想を修正

2021年3月25日 業績・配当予想を上方修正

当初計画（11月10日）

売上高	8,300百万円
営業利益	180百万円
経常利益	320百万円
親会社帰属利益	250百万円
1株当たり純利益	22.29円
1株当たり配当額	11円

上方修正（3月25日）

売上高	9,000百万円
営業利益	515百万円
経常利益	684百万円
親会社帰属利益	586百万円
1株当たり純利益	52.98円
1株当たり配当額	27円

期末配当を再上方修正

配当方針（配当性向50%：連結優先）に則り配当額を算定

上方修正（3月25日）

1株当たり純利益	52.98円
1株当たり配当額	27円
連結配当性向	51.0%

確定

1株当たり純利益	60.63円
1株当たり配当額	31円
連結配当性向	51.1%

5 アクセルグループの概要



6 2021年3月期 市場動向

2021年3月期の主力市場の動向

パチンコ・パチスロ機市場

法改正

2018年2月 改正「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則」の施行

2021年1月 旧規則機は市場から撤去 (新規規則機への入れ替え必要)

2020年5月 新型コロナウイルスの影響により、旧規則機の市場撤去期限の概ね1年の延長が決定
新規規則機への移行 ▶ 旧規則機の入替え需要は2021年3月期と2022年3月期へと分散

市場規模 ※

2020年3月期

175万台

大幅な減少

2021年3月期

120万台

※当社分析

2021年3月期 ▶ 新規規則機へ移行

新規規則機への移行状況

- 適合率の低迷
- ホールの新規規則機導入に対する慎重姿勢

新規規則機への移行は徐々に進展
コロナ禍の影響もあり、厳しい市場環境 は継続

7 | 2021年3月期 連結業績の概要

(単位：百万円)

	'20/3 連結実績	売上比	'21/3 連結実績	売上比	増減額	増減率
売上高	9,265	100%	8,999	100%	△265	△3%
売上原価	6,316	68%	5,907	66%	△408	△6%
売上総利益	2,948	32%	3,091	34%	143	5%
販管費	2,555	28%	2,555	28%	0	0%
研究開発費	1,549	17%	1,472	16%	△77	△5%
営業利益	393	4%	536	6%	142	36%
経常利益	535	6%	705	8%	170	32%
親会社株主に帰属 する当期純利益	468	5%	670	7%	202	43%

営業外収益

NEDO助成金収入
119百万円を計上

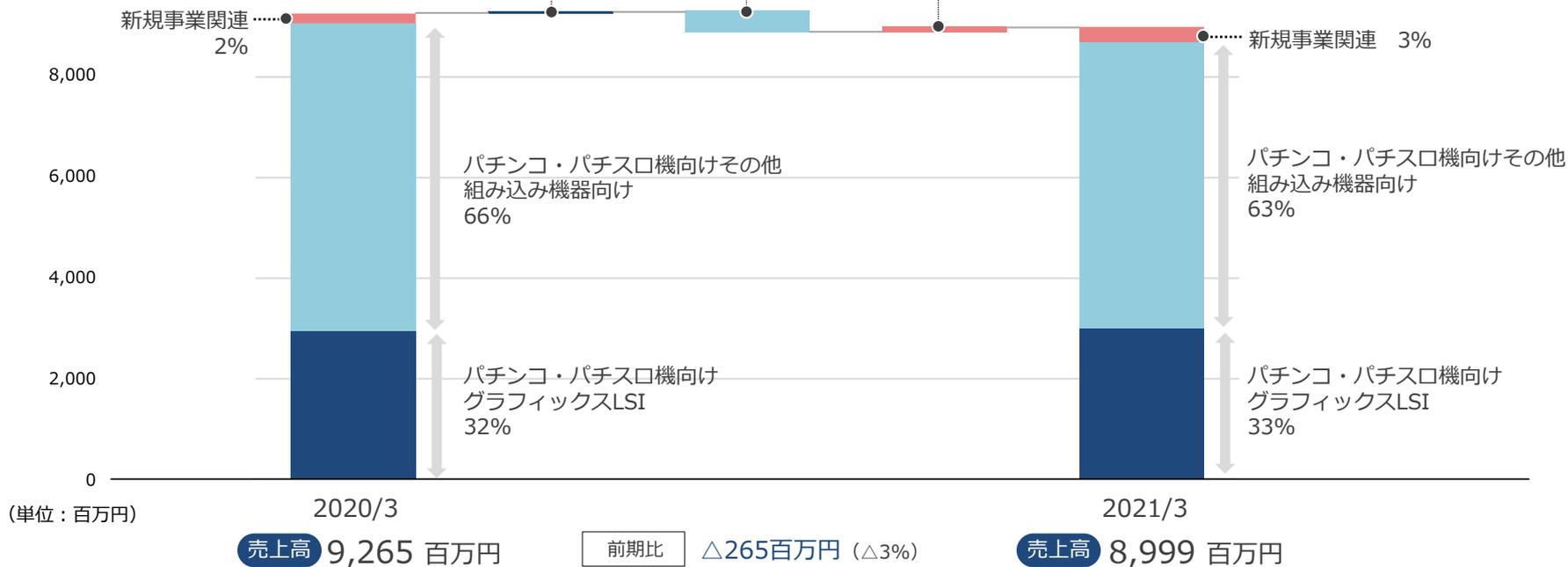
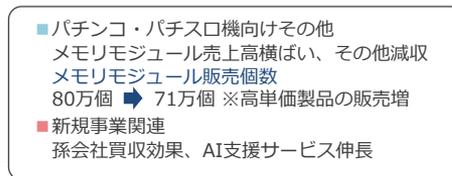
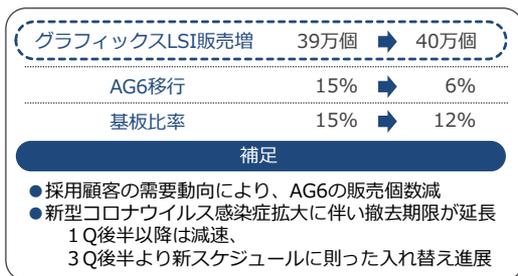
1株当たり当期純利益

1株当たり当期純利益
60.63円

配当性向50%

期末配当
1株当たり31円

8 2021年3月期 連結売上高の概要



9 | 2021年3月期 連結販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費 2,555百万円（前期比0百万円 0%増）

（単位：百万円）

	'20/3 連結実績	構成比	'21/3 連結実績	構成比	増減額	増減率
販管費合計	2,555	100%	2,555	100%	0%	0%
研究開発費	1,549	61%	1,472	58%	△77	△5%
内、純開発費	460	18%	460	18%	0	0%
内、純開発費以外	1,089	43%	1,011	40%	△77	△7%
その他	1,005	39%	1,083	42%	77	8%



10 | 2021年3月期 連結セグメント情報

	'20/3 連結実績	'21/3 連結実績
全社業績	売上高 : 9,265百万円 営業利益 : 393百万円	売上高 : 8,999百万円 営業利益 : 536百万円
LSI開発販売関連 パチンコ・パチスロ機向け製品 組み込み機器向け製品	売上高 : 9,068百万円 セグメント利益 : 1,615百万円	売上高 : 8,692百万円 セグメント利益 : 1,622百万円
新規事業関連 機械学習/AI、ミドルウェア、 ブロックチェーン、セキュリティ	売上高 : 196百万円 セグメント損失 : △641百万円	売上高 : 306百万円 セグメント損失 : △462百万円※
調整額 セグメントに配分しない全社費用	全社費用 : △580百万円	全社費用 : △623百万円

新規事業関連

主に機械学習/AI領域の伸長により前期比 **56%** の増加

機械学習/AI領域は順調に進展しているものの、当初想定した売上高成長率には未達

(AI領域以外の成長加速に向けた施策を検討)

※営業外収益にNEDO助成金収入119百万円を計上しており、実質のセグメント損失は343百万円

11 2021年3月期 連結財政状態

(単位：百万円)

	'20/3末 連結	構成比	'21/3末 連結	構成比
流動資産	10,103	91%	9,994	90%
現金・預金	8,071	72%	7,913	71%
売掛金	862	8%	924	8%
商品及び製品	1,080	10%	1,076	10%
その他	88	1%	80	1%
固定資産	1,043	9%	1,138	10%
資産合計	11,146	100%	11,132	100%
流動負債	1,272	11%	1,021	9%
固定負債	38	0%	39	0%
負債合計	1,310	12%	1,061	10%
純資産合計	9,836	88%	10,071	90%
負債・純資産 合計	11,146	100%	11,132	100%

現金・預金

158百万円 減
キャッシュ・フロー計算書にて説明

売掛金

62百万円 増
期末月の販売状況による増加

固定資産

94百万円 増
主に投資有価証券の時価評価による増加

流動負債

買掛金

662

756

未払法人税等

122

48

未払消費税等

203

37

その他

283

179

12 2021年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	'20/3 連結実績	'21/3 連結実績
現金及び現金同等物の期首残高	6,536	8,071
現金及び現金同等物増加（△減少）額	1,535	△158
営業キャッシュ・フロー	1,530	379
投資キャッシュ・フロー	△25	22
財務キャッシュ・フロー	29	△560
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の期末残高	8,071	7,913

営業キャッシュ・フロー

税金等調整前純利益	699百万円
減価償却費の計上	48百万円
仕入債務の増加	93百万円
売上債権の増加	△62百万円
その他流動負債の減少	△123百万円
未払及び未収消費税等の増減	△165百万円
法人税等の支払	△136百万円

投資キャッシュ・フロー

関係会社株式の取得	△21百万円
投資有価証券の取得	△56百万円
投資事業組合からの分配	111百万円

財務キャッシュ・フロー

自己株式の取得	△326百万円
配当金の支払い	△234百万円

2

2022年3月期の業績予想

執行役員 管理グループ ゼネラルマネージャー
植野 悦匡

2022年3月期の主力市場の動向

パチンコ・パチスロ機市場

次期の市場分析

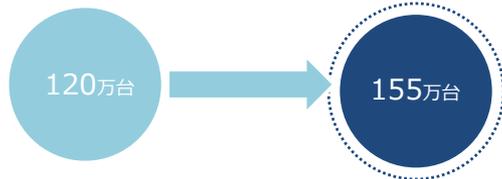
新規機への移行 ▶ 入れ替えが必要な旧規則機は市場に一定数残
市場設置数全体の約半数弱が旧規則機（当社推計）
旧規則機の入替え需要と新規機の通常の入替え需要が想定市場規模



2022年3月期の市場規模の当社想定

2021年3月期

2022年3月期



※当社分析

15 | 2022年3月期通期 連結業績予想

(単位：百万円)

	'21/3 連結実績	売上比	'22/3 連結計画	売上比	増減額	増減率
売上高	8,999	100%	9,600	100%	600	7%
売上原価	5,907	66%	6,450	67%	542	9%
売上総利益	3,091	34%	3,150	33%	58	2%
販管費	2,555	28%	2,700	28%	144	6%
研究開発費	1,472	16%	1,500	16%	27	2%
営業利益	536	6%	450	5%	△86	△16%
経常利益	705	8%	560	6%	△145	△21%
親会社株主に帰属 する当期純利益	670	7%	440	5%	△230	△34%

売上高

パチンコ・パチスロ機向け
グラフィックスLSIの販売

残りの入れ替え需要の取込み

前期 40万個 ▶ 計画 41万個

メモリモジュール製品の
販売

個数横ばい、高単価製品の販売増加

前期 71万個 ▶ 計画 71万個

セグメント別の売上高計画

LSI開発販売関連 8,900百万円 新規事業関連 700百万円

売上原価率

プラス要因

相対的に利益率の低い製品の
販売比率減

マイナス要因

一部製品の仕入れ単価上昇

(半導体需給のひっ迫による単価の見直し)

組み込み機器向け製品は、LSI開発販売関連としていましたが、近年AI系を中心に新規事業との関係性が深まっていることに鑑み、2022年3月期より新規事業関連に移管する予定です。

16 2022年3月期 連結売上高の予想

グラフィックスLSI販売増	40万個	➡	41万個
AG6移行	6%	➡	20%
基板比率	12%	➡	15%

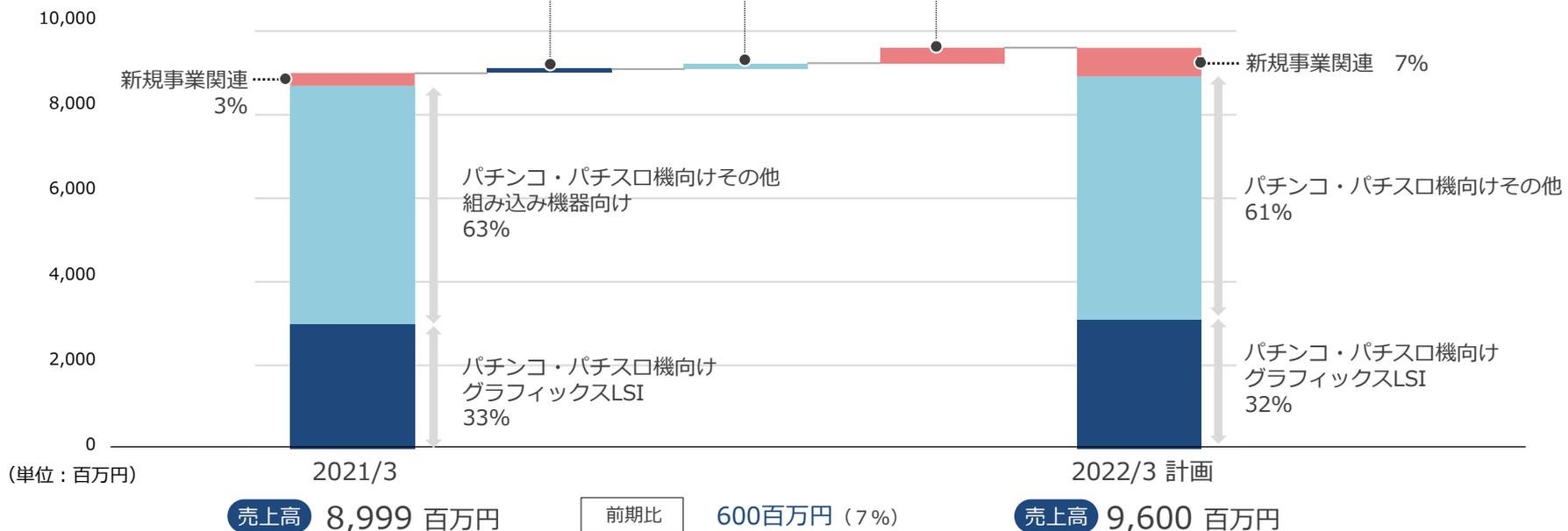
補足

- '21/3期末の受注残：29万個
- 旧規則機の市場撤去期限の延長に伴う入れ替え需要
- 入れ替え需要後の市場動向は不透明

- パチンコ・パチスロ機向けその他
メモリモジュール増収、その他減収
メモリモジュール販売個数
71万個 ➡ 71万個 ※高単価製品の販売増
- 新規事業関連
AI支援サービス伸長

市場規模に比して主力製品の販売個数が増加しない理由

- 遊技機と当社製品の販売タイミングに一定の差があること（2022年3月期設置予定の遊技機向けの当社製品の一部は2021年3月期に販売済み）
- 現行製品の販売開始から一定の時間が経過していることから主力製品のリユース率上昇を見込んでいること



17 配当予想の公表

期末配当予想を発表

配当方針（配当性向50%：連結決算）に則り配当額を算定

'21/3 実績

1株当たり純利益	60.63円
1株当たり配当額	31円
連結配当性向	51.1%

'22/3 計画

1株当たり純利益	40.75円
1株当たり配当額	21円
連結配当性向	51.5%

3

今後の成長戦略

代表取締役社長
松浦 一教

世の中の革新に貢献する製品（サービス）を実現する**3**つの開発力

高付加価値製品を実現する 総合的な開発力

1 ハードウェア開発力

LSI・FPGA・
基板設計力



2 ソフトウェア開発力

開発ツール・
ライブラリ



3 要素技術の研究開発力

動画・音声圧縮、超解像、暗号、AI等





3つの開発力を生かして実現した
パチンコ・パチスロ機市場での成功を新規事業で再現

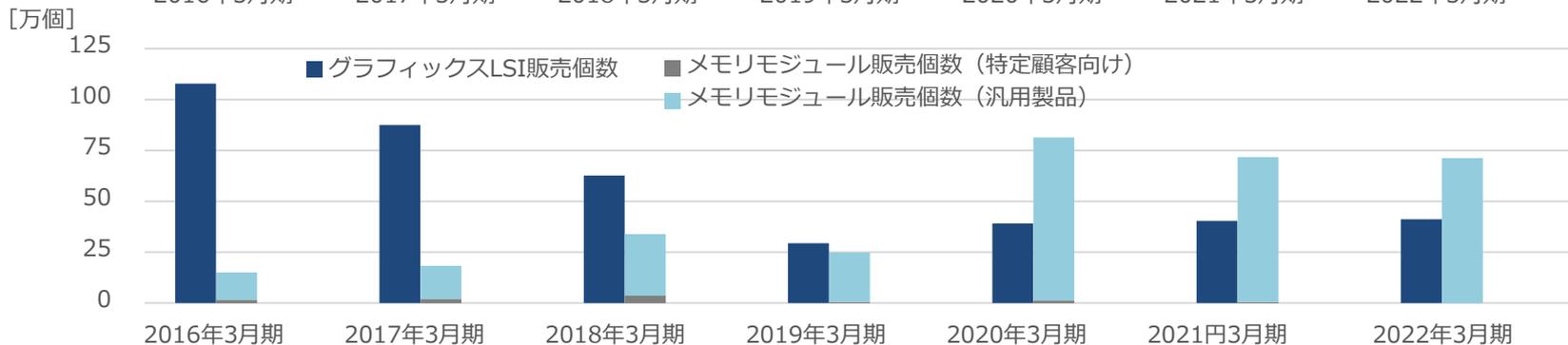
新規事業セグメントに組み込み機器向け製品を加えて
機械学習/AIを中心に
ミドルウェア、
セキュリティ、
ブロックチェーンの
各分野に注力

21 パチンコ・パチスロ機市場における事業基盤安定化への取り組み：メモリ製品の伸長

低迷する市場環境を見据え、グラフィックスLSIに続く主力製品を育成

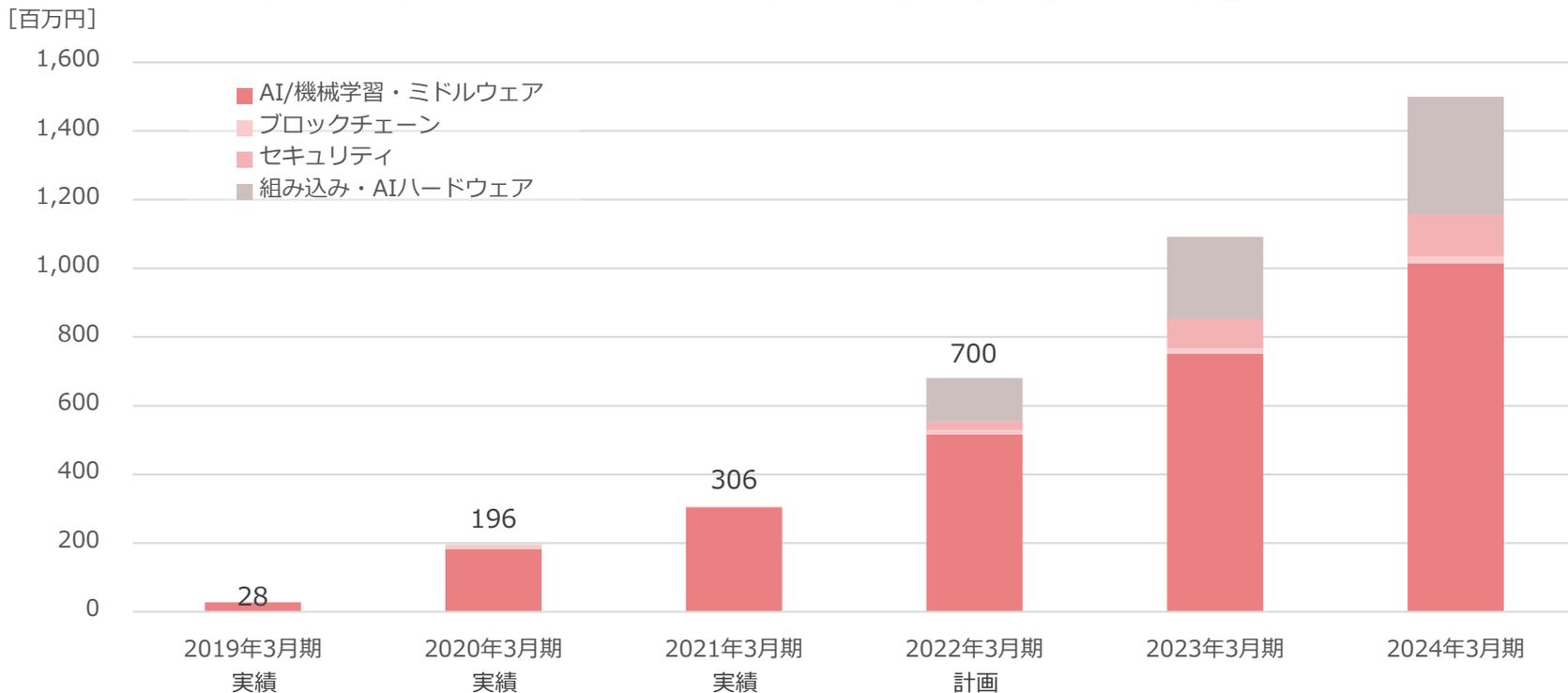
2016年3月期よりグラフィックスLSIのノウハウを生かし、より汎用性の高いメモリ製品を開発し販売を開始
 現在ではシェアの70%を獲得、さらに市場のデファクト・スタンダードを目指してaimRage株式会社を2020年に設立

■市場規模の推移（パチンコ・パチスロ機の年間販売台数）※当社推計



22 新規事業の業績イメージ

機械学習/AI領域は順調に進展するも
当初目標にした2023年3月期の新規事業系売上高16億円は1期遅れのイメージ



従来、組み込み機器向け製品はLSI開発セグメントとしていましたが、近年AI系を中心に新規事業との関係性が深まっていることに鑑み、2022年3月期より新規事業セグメントに移管する予定です。

独自開発のエッジ推論向けディープラーニング・フレームワーク「ailia」を中核に展開

独自開発のAIフレームワークを用いた開発支援からロイヤリティビジネスへ

世界最高水準の性能を誇る ailia を起点に、
AIに関する広範な業務の開発支援からスタート

ailia

クロスプラットフォーム対応
ディープラーニング・
フレームワーク

フレームワークの販売と 開発支援の積上げ

ディープラーニング・フレーム
ワークの販売/AI実装のコンサル
ティング

学習済みモデルの蓄積と応用

ターゲット

ソフト開発会社、
製造業・サービス業等

ソリューション パッケージの提供

ailiaとセットで学習済みモデル
やAI製品を販売/パートナー企
業と共同で用途別モデルを開発

ビジネスモデルの進化

販売&ロイヤリティUP

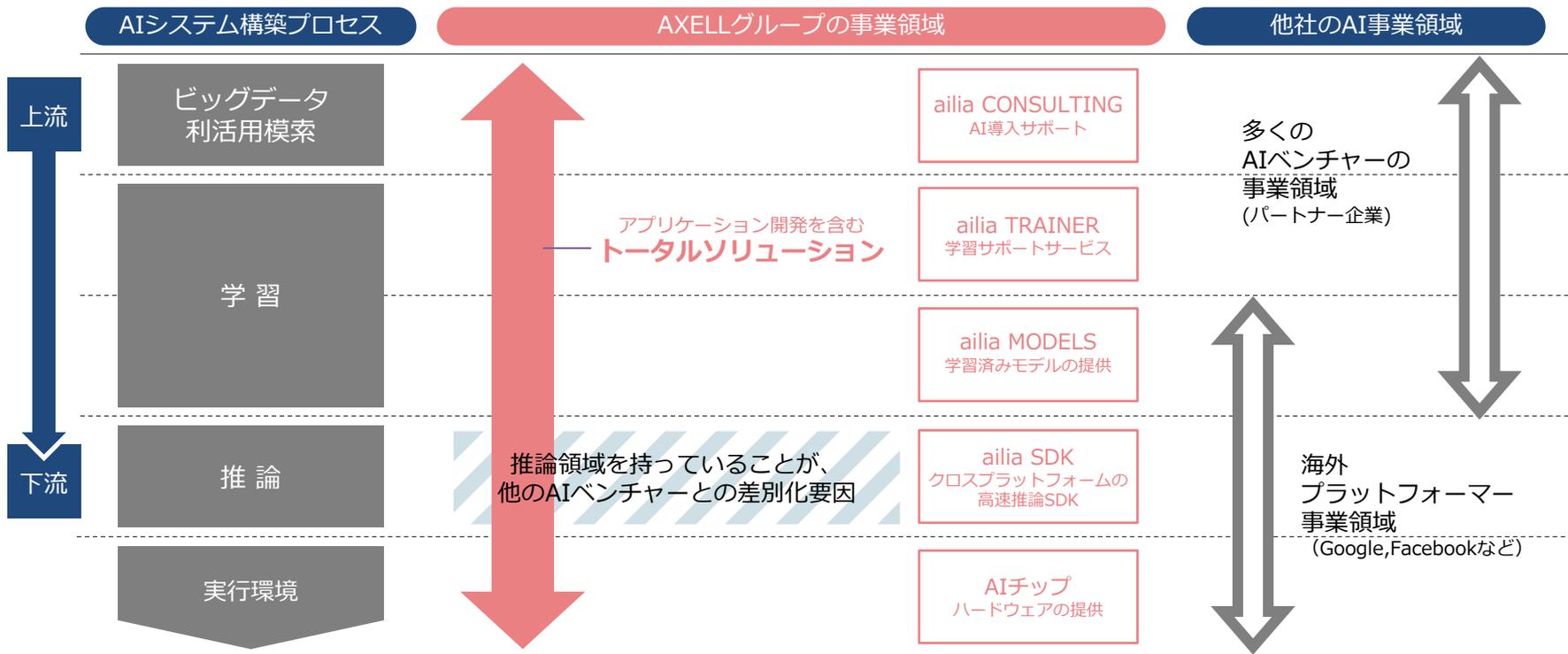
ロイヤリティ ビジネスの構築

普及させた ailia の
ロイヤリティで安定収益

規模のメリット

24 当社のAIの優位性 ユニークな立ち位置

AIを使ったシステムの構築には「学習」と「推論」のプロセスが必要で、「推論」フレームワークを持っているAI事業者は少ない



対話型AI自動運転車いすの映像認識AI及びアプリケーション開発に協力

株式会社NTTドコモが実用化を推進する「対話型AI自動運転車いすパートナーモビリティ※」の自律走行及び5Gを活用した遠隔制御を実現するために「障害物検知機能」「プライバシー保護機能」をailia SDKを用いてAI実装しました。

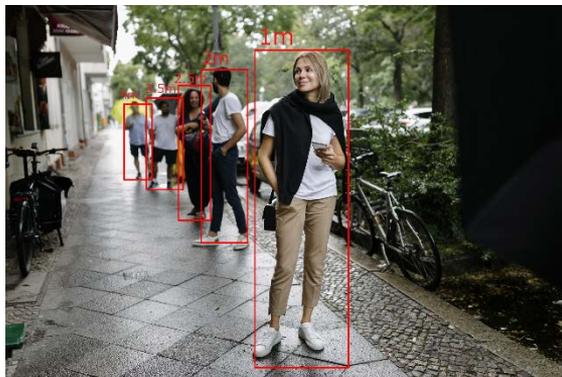


※イメージ画像

※パートナーモビリティ：音声対話で行き先を相談しながら自動運転で目的地まで案内する、先進モビリティで移動が困難な方が介助者なしで移動を楽しむことをめざした車いす。

障害物検知機能

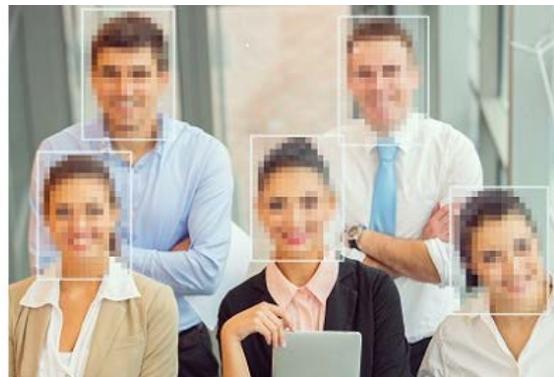
人の検出とトラッキングを行い、ステレオカメラで障害物及び人までの距離を計測するとともに、人の移動も予測します。



人の検出（単体および複数人）

プライバシー保護機能と映像転送

カメラの映像に対して人を検知し、モザイクによるプライバシー保護処理をリアルタイムに行います。



人の顔の解析結果から顔部分にモザイク処理

CLIP STUDIO Paint に ailia SDK が採用

株式会社セルシスが提供する、イラスト・マンガ・アニメーション制作ソフト「CLIP STUDIO PAINT」に、ディープラーニング・フレームワーク「ailia SDK」が採用されました。



ailia SDKは、すでにCLIP STUDIO PAINTのWindows、macOS、iOS、iPadOS版に採用されておりましたが、新たにAndroidプラットフォームに向けて提供される「CLIP STUDIOPAINT for Galaxy」にも採用されました。

ミドルウェア製品 (AXIP)



- 主にゲーミング市場向けに圧縮技術を中心としたミドルウェアを提供
- 業界最高水準のミドルウェアを多機能パッケージとして販売することで付加価値を向上
- 企業、アプリごとに固定若しくは売上連動型のロイヤリティビジネス

他社にはない
幅広いラインナップで
クリエイターを
総合的に支援

差別化要素

当社独自の
ラインナップ

H2MD

アルファ対応ムービーミドルウェア



低負荷・低遅延サウンドミドルウェア

esia

HDR対応超高圧縮ムービーミドルウェア

VUCKET

ファイルパッキングミドルウェア

GRADIA.

マルチプラットフォーム対応超解像ミドルウェア

ai | ia

クロスプラットフォーム対応ディープラーニング・フレームワーク

AXVC

カジノ・アーケードゲーム向けムービーミドルウェア

28 自動運転向けAIチップの研究開発 (機械学習 / 組み込み機器)

NEDO公募事業の一環として研究開発プロジェクトを推進



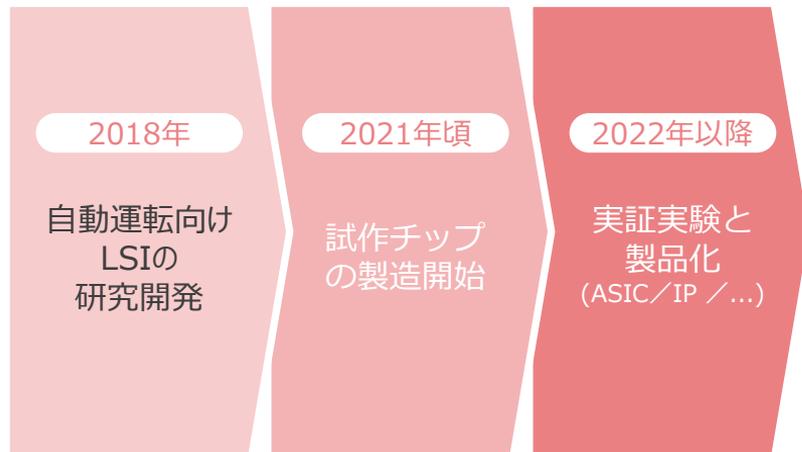
テーマ 高効率・高速処理を可能とするAIチップ・次世代コンピューティングの技術開発

研究開発 最先端の自動運転システムを開発している(株)ティアフォー(出資先)を筆頭に推進

プロジェクト推進体制



完全自動運転に向けたロードマップ



AIチップとして製品展開を模索、自動運転をはじめAIを利用する様々な分野への展開

SHALOプロジェクト（アプリケーションの暗号化ソリューション）

SHALOは、USB ドングルを使用し、よりセキュアに情報管理することができるソリューション

提供する
機能

- 1 アプリケーションライセンス管理
- 2 ログイン認証

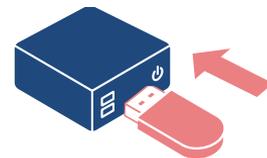
差別化
ポイント

- 1 高い安定性
- 2 クラウド時代に合わせた使い勝手
- 3 国内生産による信頼性



SHALO LICENSING

Windows/Macの
アプリケーションを
USBドングルで起動許可できる

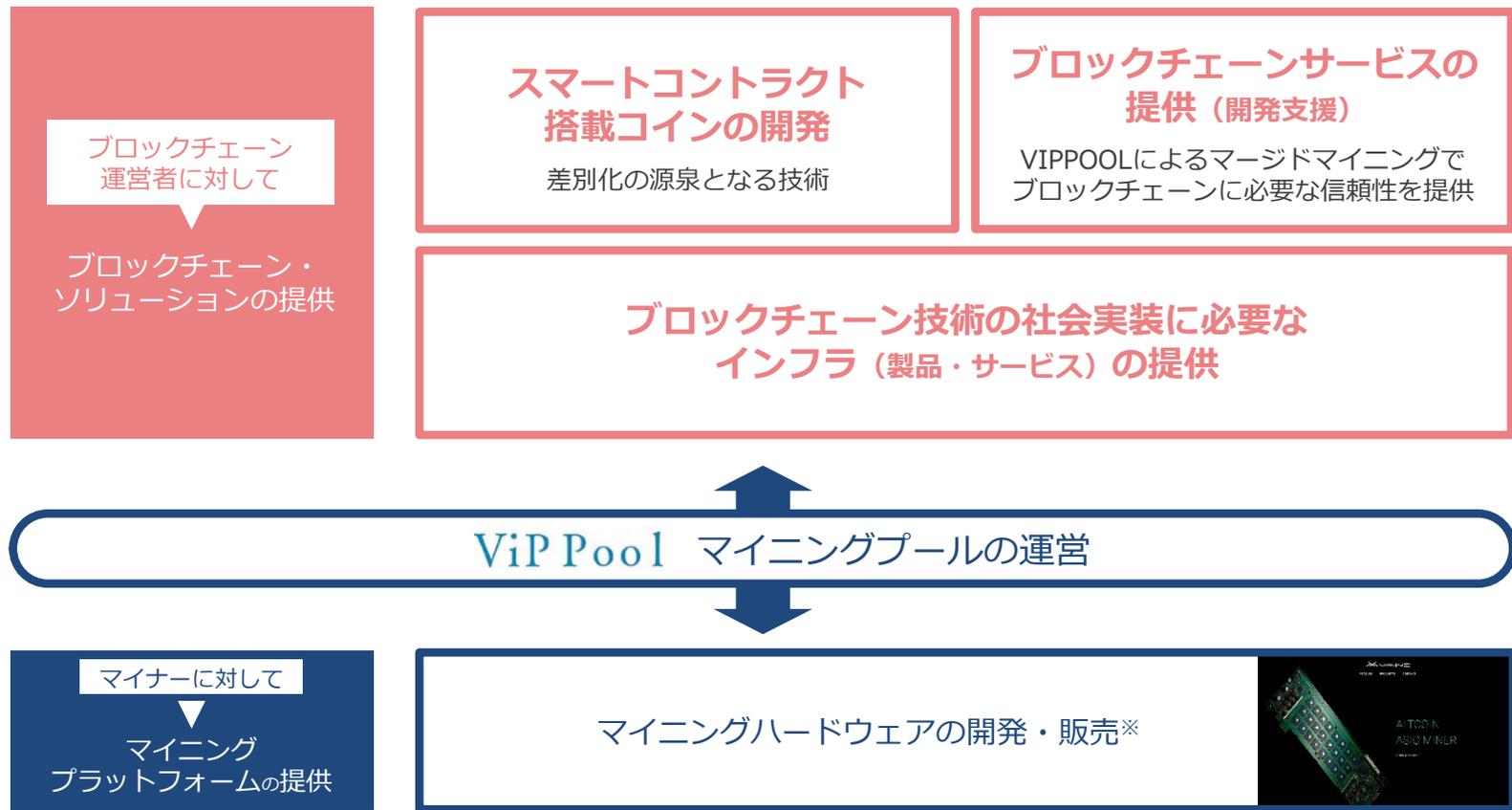


SHALO AUTH

Google / Facebook
VPN等へのログインを
USBドングルで認証できる
* FIDO認証取得



30 | ブロックチェーン ハード&ソフト開発力を生かしたビジネス展開



※ 2020年3月にモナコイン(Lyra2rev2)を含むマルチハッシュ対応のマイニングハードウェアの販売開始

31 | ブロックチェーン領域の進捗

2020年3月に マイニング・ハードウェア「VMINE」の販売を開始

対象コインの価格から2021年3月期の販売は低調
一方、足元の価格上昇から引き合いは増加

これまでの開発支援実績

ブロックチェーン技術を使ったポイントシステムの構築

2021年度の重点施策

ブロックチェーン企業としての知名度向上

技術ブログ、WEBサイト強化、アライアンス推進

VMINEやサイドチェーンを活用した ブロックチェーン・プラットフォームの構築

スマートコントラクト搭載コインの開発



独自の低コストで改ざんされにくい、高信頼性システムの構築を実現

マイニング・ハードウェア VMINE

ブロックチェーンに信頼性を提供

スマートコントラクト 搭載コインの開発

マージドマイニングによる
サイドチェーンの提供

ショーケースの公開

プラットフォームで
何ができるのかの提示

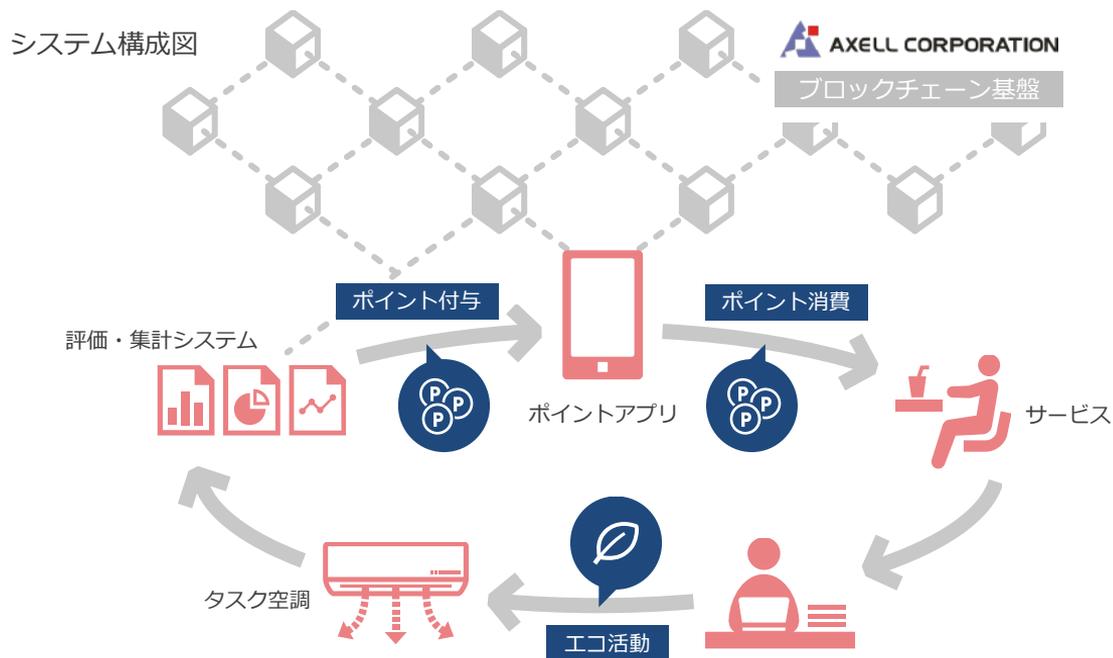
コンサル・開発案件の獲得

開発案件の創出
知名度向上、存在証明

販売増加・好循環の創出

高砂熱学イノベーションセンターにブロックチェーン技術を提供

高砂熱学工業株式会社が茨城県つくばみらい市に開設した「高砂熱学イノベーションセンター」の省エネソリューションの一環である「高砂エコポイントシステム」に当社のブロックチェーン技術が採用されました。

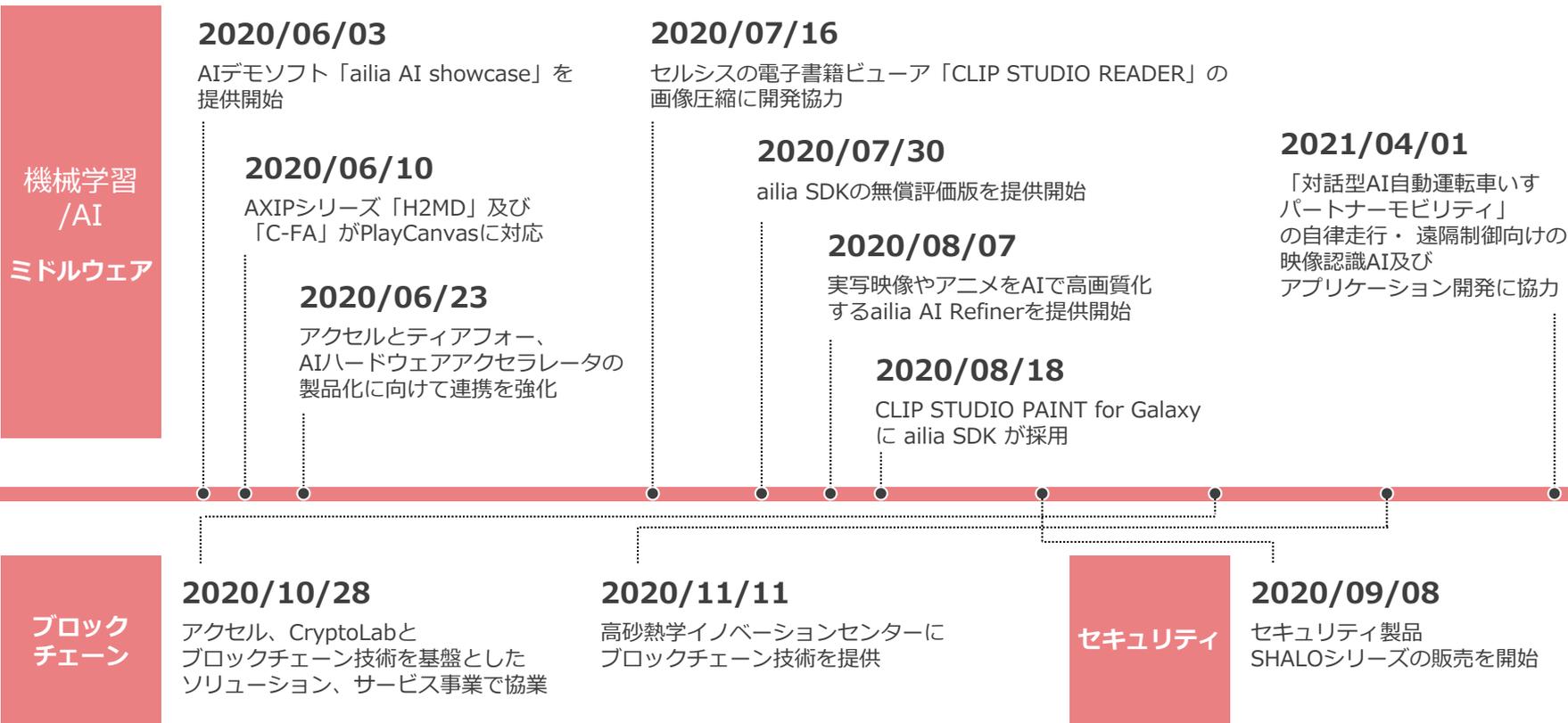


高砂エコポイントシステム

従業員の各デスクに設置された個別空調機の利用状況を集計し、エコ行動に応じてポイントを付与するシステムです。獲得したポイントは、同センター内にあるカフェレストランでの利用等が計画されています。

アクセルは、スマートコントラクト上のトークンとしてポイントを実装する等、ブロックチェーン技術を活用したシステム全体の開発に携わり、高度な耐障害性や相互運用性の実現に貢献しました。

33 新規事業の進捗



34 | 新たなステージに向けて、企業理念を刷新

パチンコ主体のファブレス半導体企業から、
世の中の革新に貢献する **先端テクノロジー企業** へ





本資料に記載の予想数値を含む将来に係る情報は、現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料の一部または全部を弊社の許可なく、転載・複写することのないようお願い申し上げます。